

令和7年度 第2回大津市地域公共交通活性化協議会

日時：令和7年8月28日(木) 13:30～

場所：大津市役所新館7階大会議室

1 開会

- 事務局（会長あいさつ及び配布資料の確認）

2 議題

(1) 報告事項

① 第2次大津市地域公共交通計画の骨子案について

- 事務局

(資料について、事務局より説明)

- 副委員長

今回の計画で、強く意識する必要がある点として、運転手の担い手不足が深刻化することが進行をすることを前提として、計画を策定していただきますようお願いしたい。

危機感を持つと言っていても伝わりにくいが、バス運転手の平均年齢は54歳くらいで、5年後に路線バスが半分になると想定されている。このまま雇用環境が良くならなければ、路線バスはこうなってしまうということを理解したうえで、今後どうしていくのかを考えていく必要がある。

担い手確保に向けて市が一丸となって取り組むという方向性は問題ないと考えるが、資料としてもその点に力を入れると記載してパワーアップしていただきたい。

もし、運転手の確保に取り組むもうまくいかず、路線バスを減便、廃線することになる場合は、路線バス以外にも移動手段を確保することを地域の方々と相談し、知恵を出していくための体制を記載いただけるといいと考える。

(2) その他

- 西日本旅客鉄道株式会社

労働力が減り経営環境が変化する中、2020年度より駅のオペレーションの見直しを行っている。令和7年度は7月1日に和邇駅、比良駅、近江舞子駅で販売窓口を閉じ、券売機のみでの対応を行っている。また、8月1日から北小松駅、9月1日から蓬莱駅、志賀駅で駅係員が常駐していない体制に変更となる。

なお、介助が必要となるお客様への対応は、これまで通りサポートダイヤルで受け付け対応していく。また、駅での対応も、遠隔システムで対応していく。

できる限り、人による対応をしていきたいが、変化していく環境の変化に対応し、持続可能な鉄道を作り上げていきたい。

○ 京阪電気鉄道株式会社

10月1日から、運賃を改定させていただく。

大津線については、普通運賃は一区（1～5キロ）が170円のところ200円に、二区（6～10キロ）が280円、三区（11～15キロ）が380円になる。

世間的に人件費が高まる中、現状では人材を確保することが困難になってきており、また修繕費その他も上がってきてていることから、ご理解のほどよろしくお願ひしたい。

○ 滋賀運輸支局

運輸業界では以前より人材不足が顕著になっており、この度滋賀県のタクシー業界からの要請を受け、近畿運輸局より要請内容を査定した結果、タクシードライバーの労働条件を改善したうえで、健全な経営を維持することが必要であると判断し、運賃改定することを決定した。

増収率、現行運賃からの平均的な値上げ率と読み替えて支障はなく、8.31%となっている。現行の上限運賃は、初乗り1.0キロにつき500円、加算は236mにつき100円となっていたところ、改定後の上限運賃は、初乗り0.9キロにつき500円、加算は218mにつき100円となる。

新運賃の実施日は、令和7年9月12日（金）からとなる。

○ 大津市地域交通政策課

新たな補助制度について説明する。

一点目は、人にやさしいタクシー導入促進事業補助金で、大津市域交通圏でユニバーサルデザインタクシーを導入しようとするタクシー事業者を交付対象者として、ユニバーサルデザインタクシーの購入経費等の一部を補助する。申請の締切は令和7年9月30日まで。

二点目は、地域住民の移動手段の確保に係る無償運送事業補助金で、おおむね小学校区の範囲において地域住民を対象とした無償運送を主体的に実施する公共的団体を交付対象者として、無償運送事業に係る経費の一部を補助する。申請の締切は令和7年12月26日まで。

4 閉会